

2020年度事業計画

始めに

- この2020年度事業計画及び収支予算は、2020年2月27日に開催された臨時理事会において決議されたものである。
- その後、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、大学スポーツ活動も自粛中止となっているため、本計画における各種施策の一部は執行保留としている。
- 緊急事態宣言や措置の緩和状況に沿って、可能な限り施策の実行を推進していく所存である。

「大学スポーツの振興」に向けた 3actions(活動指針)

大学スポーツの振興

- ・学生アスリートが生き生きとしてスポーツと学修に取り組む
- ・大学・競技団体が更なる発展を遂げる

大学スポーツ 参画人口の拡大

- ・大学スポーツに関わる人々を性別や障がいの有無等に関わらず平等に増やしていく。

We
Promote
University
Sports

Playing

スポーツを
体験する

大学生活においてスポーツする学生を増やす活動

- ・運動部員数の拡大に向けて、学業面・安全安心な環境面での支援を充実させる。
- ・一般学生にもスポーツをする機会の提供を促進する。

Watching

スポーツを
応援する

大学スポーツを観戦、応援する人口を増やす活動

- ・在学生が自らの大学の試合を観戦し、応援する風土を取り戻す。
- ・OB・OGや地域住民を中心に大学スポーツのファンを創出し、育成、拡大をしていく。

Supporting

スポーツを
支援する

アスリートと運動部活動への支援を強固にする活動

- ・大学の運動部として活動を統括・支援する大学を増やしていく。
- ・スポーツ医科学研究の英知・成果を現場に還元していく。
- ・民間企業との産学連携により有形無形の支援を獲得する。

2020年事業計画の骨子

2020事業目標

STEP UP 20

UNIVASアスリート

20万人

加盟登録団体登録学生数17万人

加盟大学

250大学

222大学

加盟競技団体

40団体

34団体

事業計画
5の柱

(1) 学業充実・デュアルキャリア形成施策の提供・推進事業

(2) 安全安心なスポーツ環境整備の推進事業

(3) 大学スポーツ認知拡大施策の推進事業

(4) 会員サポートプラットフォームの提供事業

(5) クローズアップUNIVAS活動の推進事業

事業を
支える
6施策

(1)
新たなパートナー
開拓の推進

(2)
会員のガバナンス
発揮の支援

(3)
学生の意見を反映
する仕組みづくり

(4)
会員とのコミュニ
ケーションの深耕

(5)
執行体制及び
事務局の増強

(6)
課題解決型プロジェ
クトの推進

事業計画の5つの柱

(1) 学業充実・デュアルキャリア形成施策の提供・推進事業

1) UNIVAS 研修会 の開催

- ① 管理者セミナー
: 東京会場・大阪会場の2か所で各2回開催
- ② 指導者セミナー: 全国8会場で開催
受講「修了証」発行、AWARDSの表彰対象化

2) 入学前教育 プログラムの 提供

- ① 学習支援プログラム
・2019年実施7大学、大学類型別に実施校を拡大
- ② 入学準備プログラム
・大学生活やスポーツに関する動画セミナーを展開

事業計画の5つの柱

(1) 学業充実・デュアルキャリア形成施策の提供・推進事業

3) キャリア形成支援プログラムの提供

- ① デュアルキャリア形成年次別プログラム
・能力の必要性と育成を伝えるWebセミナーを展開
- ② キャリア適性診断
- ③ リーダーズキャンプ(11月・2月開催予定)
- ④ GMG(Great Manager)ミーティング
- ⑤ 就職セミナー

4) 学業基準導入に向けた実証検証

- 2019年度の結果を踏まえ更に実証検証を進める
- ① 基準値再検証 ② 運用マニュアル策定
- ③ 未達者への対処方針方法、フォロー方法検討

事業計画の5つの柱

(2) 安全安心なスポーツ環境整備の推進事業

1) UNIVAS 相談窓口の 運営

➤2019年に開設、相談受付を開始しているもの、まだ周知不足の現状であり、無料であること等告知ツールも増強して周知・認知を拡大していく

2)安全安心 対策の助成

- ①医療従事者等の配置は、通年で募集
- ②新たな安全対策を助成対象として新規開発する競技環境の整備や、試合運営に関する対策や、安全安心講習会等幅広く検討を進める

事業計画の5つの柱

(2) 安全安心なスポーツ環境整備の推進事業

3) 安全安心 ガイドライン の徹底

- UNIVAS研修会にて、2020年2月発刊の安全安心ガイドラインの徹底を図る

4) 事故怪我 予防事例 研究

- 2019年の保険データ分析に続き、大学および競技団体における事故事例情報集積体制の実態調査を予定
- 事故怪我予防に関する状況把握と解析、予防研究の深耕に向けた研究体制の確立を検討していく

事業計画の5つの柱

(3) 大学スポーツ認知拡大施策の推進事業

1) UNIVAS CUPの開催

- 参加意識を上げ盛り上がりを促進する改善実施
- ① ポイント獲得対象試合の拡大を検討
- ② 表彰コースの見直しを検討(全国・地区並列)
- ③ 指定大会でのUNIVAS露出を拡大する

2) 試合動画 の配信

- 年間1000試合以上を目標に配信試合数を拡大
- ① 配信試合数の拡大(UC指定大会序盤戦)
- ② 動画展開場所の拡大(会員サイトにての展開)
- ③ 周知拡大プロモーションの展開

事業計画の5つの柱

(3) 大学スポーツ認知拡大施策の推進事業

3) 競技日程 カレンダーの 作成

➤ 競技団体に提供する組織管理プラットフォーム「OUR UNIVAS」の機能の一環として、競技団体毎に主催する試合の日程を入力、学生や大学関係者が閲覧できるようにする

4) 年間表彰 UNIVAS AWARDS

➤ 参加者拡大と盛り上げを図るべく、2020年3月の第一回表彰式開催を経て、表彰11コースの妥当性や、開催時期などを検証する

➤ 表彰コースに冠企業名を付加する等でスポンサープログラム化を図り、独立財源確保を目指す

事業計画の5つの柱

(4) 会員サポートプラットフォームの提供事業

1) 競技団体や
運動部運営
のサポート

➤「OUR UNIVAS」のメニューとして、組織運営に関する5種類のサポートサービス機能を提供する
①名簿管理機能②情報発信機能③広告・PR支援機能④カレンダー機能⑤サイト制作の支援

2) 学生アス
リートへの
サービス提供

➤情報を登録した学生アスリート本人に対しては、「MY UNIVAS」のメニュー特典サービスを提供する
①MY FAVORITEコンテンツ ②動画見放題 ③各種サポート(コンディショニング、キャリア支援他)

3) ファン顧客
の組織化

➤試合動画の視聴や、運動部応援する父兄・OB・OG等の登録を受け、ファンとして育成

事業計画の5つの柱

(5) クローズアップUNIVAS活動の推進事業

1) オフィシャルサイト改編

➤ UNIVAS活動の全体が俯瞰できるような編成に改編を行い、ユーザビリティの向上を目指す

2) SNSプロモーションの拡大

- ① メディアの拡大: Instagram、Tiktok他
- ② コンテンツ改善: 事実告知からエディトリアル型へ
- ③ フォーメーションの設計: 告知の早期化
- ④ 運用体制の確立: 人的対応から組織対応へ

3) オンサイトでの認知拡大

- 特に学生を対象とした認知拡大策を投入する
- ① UNIVAS活動の周知: ポスター、ステッカー
 - ② UNIVAS CUP指定大会での告知: 後援、ロゴ露出
 - ③ UNIVASスタッフのメディア化: 撮影クルー演出

事業を支える6施策

(1) 新たなパートナー開拓の推進

1) 新たなメリットの創出

➤ 現状に加えて、「イベント協賛型」「CSR型」等新たなスポンサーメリットを提供しうるプログラムを開発

2) 業界・業種特性の反映

➤ 複数社横並び型等、業種や事業領域の特性を踏まえたスポンサープログラムの開発を検討する

(2) 会員のガバナンス発揮の支援

1) 運動部への大学ガバナンス確立支援

- ① コンプライアンス研修会の開催
 - ・ UNIVAS法律専門家による研修会を開催
- ② 運動部マネジメントサポートツールの提供
 - ・ 業務の安定化に向けた支援ツール開発、提供

事業を支える6施策

2) 競技団体の
ガバナンス確
立支援

- ① 不祥事対応事例集の作成
- ② コンプライアンス研修会の開催
- ③ リーガルコンサルティングの実施

(3) 学生の意見を反映する仕組みづくり

1) UNIVAS
学生部
の設立

➤ 週一回の活動を原則に、UNIVAS活動に対する意見具申や学生ならではのUNIVAS活動の立案などを行う

2) ありもり会
議の開催

➤ 女性やパラアスリートの意見収集の機会として定例開催を行う

事業を支える6施策

(4) 会員とのコミュニケーションの深耕

1)学長懇談会	➤学長等大学経営層との懇談会、大学スポーツ活性化に向けた重要課題の意見を交換(年2回)
2)情報共有会	➤大学担当窓口を対象にUNIVAS活動の説明、質疑を行い、理解促進を図る(年4回・Web開催)
3)競技団体意見交換会	➤競技団体を対象に、UNIVAS活動の説明、質疑を行い、理解や着地促進を図る(年2回)
4)UNIVAS 通信	➤UNIVAS担当窓口、会員内個人等を対象に、UNIVAS活動の認知促進に向け月例で配信

事業を支える6施策

(5) 執行体制及び事務局の増強

1) 会員開拓	<ul style="list-style-type: none">➤ 入会受付は随時可能とする。➤ また、初年度入会金無料の特典は終了、2020年3/1より、入会金10万円・年会費10万円となる
2) 理事体制	<ul style="list-style-type: none">➤ 現状16名体制。(25名枠)➤ 追認を含む理事体制の検討を進める
3) 事務局体制	<ul style="list-style-type: none">➤ 事業推進の拡大に向けて事務局人員の増強を行う。4名増員により10名体制とする

事業を支える6施策

(6) 課題解決型プロジェクトの推進

1)ガバナンスコードへの対応	➤UNIVASは「一般団体用ガバナンスコード」の適用団体となる。高いレベルのガバナンス確保に向けて自主性を反映した内容を策定する
2)学長委員会の設置	➤学長懇談会で討議された「大学スポーツの在り方について」等の課題の解決に向けて、学長代表者にもご参加いただいた委員会を設置する
3)将来的な課題への対応	➤グローバル化や組織ガバナンス整備に関する課題も睨んで、研究・準備を進める